

『日本法育研究』執筆要領

日本法育学会編集委員会

執筆の際には、下記の1～12の記載方法を遵守して下さい。遵守されていないものにつきましては、記載方法を統一する都合上、ご原稿の一部を修正させて頂く場合もございますので、なにとぞご理解・ご協力をお願いします。なお、ご修正についてご了解いただけない場合には、編集委員長は、編集委員会に諮り、その多数決をもって、形式的な記載に限り修正できるものいたします。

1 文体

文体は、丁寧体（です・ます体）ではなく、普通体（である体）での記載をお願いします。但し、特別講演・基調講演または追悼文については、丁寧体（です・ます体）で記載をすることができます。

2 見出し番号

見出しは、I, II, III, 123, (1)(2)(3), (a)(b)(c)の順でお願いします。

※I, II, III と 123 は見出しの後改行し、(1)(2)(3)と(a)(b)(c)は見出しの後2マスあけて本文を続け下さい。本文中の箇条書き等に用いる飾り数字は、①②③, ㉠㉢とします。

(例) I はじめに

1 問題の所在

(1)

3 注番号

注は、1) 2) 3)を脚注として使用して下さい（本文中のみ上付き文字とします）。

4 図表

図表は、文中ではなく、文末にまとめて下さい。

5 年号

年号は、西暦または西暦（元号）年で全て統一して下さい。

6 参考文献

参考文献は、文末ではなく、脚注の中に記載して下さい。

7 邦文文献の引用方法

邦文文献の引用は、法律編集者懇話会『法律文献等の出典の表示方法』にならして下さい。

・単行本等：著者名『書名』頁（発行所，発行年）または（発行所，発行年）頁。

（例）船山泰範『刑法を学ぶための道案内』55頁（法学書院，2016年）。

・論文等：執筆者名「論文名」雑誌名 巻 号 頁（発行年）または巻 号（発行年）頁。

（例）船山泰範「権力が守る犯罪」政経研究（日本大学）52巻2号467頁（2015年）。

・論文集等：執筆者名「論文名」編著者名『書名』頁（発行所，発行年）

（例）船山泰範「司法参加権の展望」北野弘久先生追悼論集刊行委員会編『納税者権利論の課題』159頁（2012年，勁草書房）

8 欧文文献の引用方法

欧文文献の引用は、以下の例にならして下さい。

・単行本等：著者名，書名（イタリック），版次，出版社，出版年，頁

論文等：執筆者，“論文名”，雑誌名（イタリック），巻，号（年月），頁

論文集等：執筆者，“論文名”，in 編者名，ed.，書名（イタリック），出版社，出版年，頁

（例）Jon B. Gould, *The Innocence Commission : Preventing Wrongful Convictions and Restoring the Criminal Justice System*, New York University Press, 2008, 123.

9 Microsoft word®等のワープロソフトでご作成のうえ，電子ファイルを添付して提出先メールアドレス宛てにお送り下さい。また，完全原稿での提出をお願い致します（提出後の大幅な校正は，定期刊行に支障が生じますので，ご遠慮下さい）。

提出期限 2月29日

提出先 toko@nihon-houiku.jp